

## 出雲商工会議所管内 業種別景況（令和2年7月～9月期）

### 《全 業 種》

#### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	27.1	11.9	61.0	△ 33.9	63.3	8.3	28.3	35.0	35.6	39.0	25.4	10.2
2 採 算	13.8	36.2	50.0	△ 36.2	35.0	46.7	18.3	16.7	22.4	58.6	19.0	3.4
3 仕 入 単 価	28.8	69.5	1.7	27.1	21.7	78.3	0.0	21.7	13.8	84.5	1.7	12.1
4 従 業 員 数	/	/	/	/	8.5	86.4	5.1	3.4	10.2	86.4	3.4	6.8
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	15.3	71.2	13.6	1.7	8.6	81.0	10.3	△ 1.7

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

#### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		18.6	35.6	45.8		-27.1		27.1	42.4		30.5	-3.4		3.4

#### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	50.0	14.5	1.6	66.1	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	4.8	6.5	11.3	22.6
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	9.7	6.5	16.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	1.6	0.0	1.6	3.2
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	3.2	3.2	6.5	10 事 業 資 金 の 確 保 難	1.6	4.8	4.8	11.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	6.5	4.8	4.8	16.1	11 需 要 の 停 滞	9.7	16.1	11.3	37.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	1.6	1.6	3.2	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	11.3	6.5	8.1	25.8	13 そ の 他	6.5	4.8	0.0	11.3
7 人 件 費 の 増 加	3.2	4.8	8.1	16.1	無 回 答	4.8	22.6	37.1	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

## 《 製 造 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	0.0	22.2	77.8	△ 77.8	44.4	11.1	44.4	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0
2 採 算	0.0	44.4	55.6	△ 55.6	33.3	33.3	33.3	0.0	22.2	55.6	22.2	0.0
3 仕 入 単 価	11.1	88.9	0.0	11.1	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従 業 員 数	/	/	/	/	11.1	88.9	0.0	11.1	22.2	77.8	0.0	22.2
5 資 金 繰 り	/	/	/	/	12.5	75.0	12.5	0.0	0.0	75.0	25.0	△ 25.0

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		0.0	33.3	66.7		△ 66.7		11.1	33.3		55.6	△ 44.4		22.2

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	77.8	22.2	0.0	100.0	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	0.0	11.1	22.2	33.3
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	11.1	0.0	11.1	9 取 引 条 件 の 悪 化	11.1	0.0	0.0	11.1
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原 材 料 高 及 び 不 足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需 要 の 停 滞	11.1	33.3	22.2	66.7
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	11.1	11.1	22.2	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	0.0	11.1	11.1	13 そ の 他	0.0	11.1	0.0	11.1
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	22.2	22.2	無 回 答	0.0	0.0	11.1	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 展示会が開催できない代わりにオンラインでイベントを行っているが、反応が読めない（業界として）
- ・ 今後もイベント中止が続いた場合のダメージは大きい。それを想定しどう補っていくかが課題である。
- ・ 今まで腰が重く動けなかったことが、思い切って動けるキッカケになった。年末良い結果を作って来年につなげたい。

## 《建設業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	37.5	50.0	12.5	25.0	62.5	25.0	12.5	50.0	50.0	25.0	25.0	25.0
2 採算	25.0	50.0	25.0	0.0	50.0	50.0	0.0	50.0	25.0	50.0	25.0	0.0
3 仕入単価	25.0	75.0	0.0	25.0	12.5	87.5	0.0	12.5	12.5	87.5	0.0	12.5
4 従業員数					0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
5 資金繰り					37.5	62.5	0.0	37.5	12.5	87.5	0.0	12.5

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		42.9	57.1	0.0		42.9		57.1	28.6		14.3	42.9		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	25.0	12.5	0.0	37.5	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	0.0	12.5	12.5
2 大企業進出による競争激化	0.0	25.0	12.5	37.5	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	12.5	12.5
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	12.5	12.5	10 事業資金の確保難	0.0	0.0	0.0	0.0
4 原材料高及び不足	0.0	0.0	0.0	0.0	11 需要の停滞	12.5	0.0	0.0	12.5
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	62.5	12.5	0.0	75.0	13 その他	0.0	12.5	0.0	12.5
7 人件費の増加	0.0	12.5	12.5	25.0	無回答	0.0	25.0	37.5	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 公共工事の減少や新型コロナの影響による需要の停滞が感じられる。工事が減ると競争も激化し、利益の確保が難しくなる。
- ・ 人手が不足している。求人を出すけど人が来ない。外注により経費が増加している。

## 《卸 ・ 小 売 業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	33.3	5.6	61.1	△ 27.8	57.9	5.3	36.8	21.1	22.2	38.9	38.9	△ 16.7
2 採 算	17.6	29.4	52.9	△ 35.3	31.6	42.1	26.3	5.3	11.8	58.8	29.4	△ 17.6
3 仕 入 単 価	44.4	50.0	5.6	38.9	31.6	68.4	0.0	31.6	15.8	78.9	5.3	10.5
4 従 業 員 数					5.3	89.5	5.3	0.0	10.5	84.2	5.3	5.3
5 資 金 繰 り					10.5	73.7	15.8	△ 5.3	5.3	84.2	10.5	△ 5.3

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D I (業況判断指数)とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.8	42.1	42.1		-26.3		21.1	57.9		21.1	0.0		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	42.1	26.3	0.0	68.4	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	10.5	0.0	5.3	15.8
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	5.3	10.5	15.8	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	5.3	5.3	10.5	10 事 業 資 金 の 確 保 難	5.3	5.3	10.5	21.1
4 原 材 料 高 及 び 不 足	5.3	10.5	10.5	26.3	11 需 要 の 停 滞	21.1	10.5	10.5	42.1
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	0.0	10.5	15.8	26.3	13 そ の 他	10.5	5.3	0.0	15.8
7 人 件 費 の 増 加	5.3	5.3	10.5	21.1	無 回 答	0.0	15.8	21.1	—

注) 「全体」= (1位+2位+3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 地元工務店の新築受注の停滞による資材需要の低下と、中抜きでの資材購入がさらに増加し卸市場が悪化。年末に向けて若干の持ち直しは見られるが、資材納入時期の無い谷間が例年以上に深く売り上げへの影響が大である。
- ・ 店内での飲食をコロナの影響もあり中止している。客足はだんだん戻りつつある。
- ・ 客数は減少したが、客単価は増加した。

## 《サービス業》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況 (前年同期と前期との比較)								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売上高	30.8	0.0	69.2	△ 38.5	61.5	7.7	30.8	30.8	46.2	30.8	23.1	23.1
2 採算	7.7	30.8	61.5	△ 53.8	15.4	61.5	23.1	△ 7.7	30.8	53.8	15.4	15.4
3 仕入単価	23.1	76.9	0.0	23.1	7.7	92.3	0.0	7.7	0.0	100.0	0.0	0.0
4 従業員数	/	/	/	/	23.1	76.9	0.0	23.1	7.7	92.3	0.0	7.7
5 資金繰り	/	/	/	/	15.4	61.5	23.1	△ 7.7	7.7	76.9	15.4	△ 7.7

注) ↑ 増加・上昇・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・悪化

注) D・I (業況判断指数) とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		15.4	30.8	53.8		-38.5		38.5	38.5		23.1	15.4		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売上・受注の減少	50.0	7.1	7.1	64.3	8 設備店舗の狭小・老朽化	0.0	7.1	0.0	7.1
2 大企業進出による競争激化	0.0	14.3	7.1	21.4	9 取引条件の悪化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製品・商品単価の下落	0.0	0.0	0.0	0.0	10 事業資金の確保難	0.0	7.1	7.1	14.3
4 原材料高及び不足	7.1	0.0	0.0	7.1	11 需要の停滞	0.0	7.1	7.1	14.3
5 在庫製品・商品の過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円相場に伴う経営への影響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人手不足	7.1	7.1	7.1	21.4	13 その他	14.3	0.0	0.0	14.3
7 人件費の増加	7.1	7.1	0.0	14.3	無回答	14.3	42.9	64.3	—

注) 「全体」 = (1位 + 2位 + 3位を選んだ回答数) / 全回答数

### 3、業界内のトピック (調査対象事業所からの意見等)

- ・ 人件費が高騰している
- ・ 感染予防対策に時間、労力が注がれているので、何とか良い方法がないものかと考える。
- ・ 再来店までのスパンが長くなった。収入が減った人が美容院から1000円カットなど格安の散髪屋に流れていっている

## 《 飲 食 業 》

### 1、売上・採算・仕入単価・雇用状況・資金繰り等の状況

(%)

	I 今期の状況（前年同期と前期との比較）								II 来期の見通し			
	前年同期(令和元年7月～9月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				前期(令和2年4月～6月期)と比べた 今期(令和2年7月～9月期)の状況				今期(令和2年7月～9月期)と比べた 来期(令和2年10月～12月期)の見通し			
	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I	↑	—	↓	D・I
1 売 上 高	27.3	0.0	72.7	△ 45.5	90.9	0.0	9.1	81.8	36.4	63.6	0.0	36.4
2 採 算	18.2	36.4	45.5	△ 27.3	54.5	45.5	0.0	54.5	27.3	72.7	0.0	27.3
3 仕 入 単 価	27.3	72.7	0.0	27.3	45.5	54.5	0.0	45.5	36.4	63.6	0.0	36.4
4 従 業 員 数					0.0	80.0	20.0	△ 20.0	10.0	80.0	10.0	0.0
5 資 金 繰 り					9.1	81.8	9.1	0.0	20.0	80.0	0.0	20.0

注) ↑ 増加・上昇・過剰・好転    — 不変    ↓ 減少・低下・不足・悪化

注) D I（業況判断指数）とは、ディフュージョン・インデックス（Diffusion Index）の略で、「増加・上昇・好転」したなどとする企業割合から、「減少・低下・悪化」などとする企業割合を差し引いた値です。

### 今期の状況

(%)

業況	良い	ふつう	悪い	D・I	採算	黒字	収支トントン	赤字	D・I	雇用	過剰	適当	不足	D・I
		27.3	18.2	54.5		-27.3		18.2	36.4		45.5	-27.3		0.0

### 2、経営上の問題点

(%)

経営上の問題点	1位	2位	3位	全体	経営上の問題点	1位	2位	3位	全体
1 売 上 ・ 受 注 の 減 少	58.3	0.0	0.0	58.3	8 設 備 店 舗 の 狭 小 ・ 老 朽 化	8.3	16.7	25.0	50.0
2 大 企 業 進 出 に よ る 競 争 激 化	0.0	0.0	0.0	0.0	9 取 引 条 件 の 悪 化	0.0	0.0	0.0	0.0
3 製 品 ・ 商 品 単 価 の 下 落	0.0	8.3	0.0	8.3	10 事 業 資 金 の 確 保 難	0.0	8.3	0.0	8.3
4 原 材 料 高 及 び 不 足	16.7	8.3	8.3	33.3	11 需 要 の 停 滞	0.0	33.3	16.7	50.0
5 在 庫 製 品 ・ 商 品 の 過 剰	0.0	0.0	0.0	0.0	12 円 相 場 に 伴 う 経 営 へ の 影 響	0.0	0.0	0.0	0.0
6 人 手 不 足	8.3	0.0	0.0	8.3	13 そ の 他	0.0	0.0	0.0	0.0
7 人 件 費 の 増 加	0.0	0.0	0.0	0.0	無 回 答	8.3	25.0	50.0	—

注) 「全体」=（1位+2位+3位を選んだ回答数）/全回答数

### 3、業界内のトピック（調査対象事業所からの意見等）

- ・ 県外の人をお断りしている時期があり、逆に地元客の安心感につながった。テイクアウトと店内飲食が半々くらいになった。お客さんのお声を嫌がる人もいる。
- ・ プレミアム商品券が使われる方が多い。商品券が使われる方は新規客が多い。今後、イベントを引き続き行い、宣伝になれば良いと思っている。
- ・ コロナ禍の中でも来店されるのは常連さん。コロナの前より来店頻度が増えたり、席数を減らしたことにより、落ち着いて過ごせるので長時間滞在され料理やコースの注文が増え、客単価もUPした。